

まとめにかえて： 発表内容マッピング

1. ネイチャーポジティブの実現に向けて私たちができること(IGES、齊藤)

- ネイチャーポジティブの定義と解釈
- 生物多様性国家戦略とその進捗状況
- ネイチャーポジティブとカーボンニュートラルの両立
- 自然とのつながりと人の健康・保全行動
- 持続可能な食事法への移行と環境負荷

2. 神奈川県生物多様性保全の取組～かながわ生物多様性計画について～(神奈川県、永田)

- エリア別の多様な取り組み
- 広域的な取り組み：広域的緑地保全、外来生物の監視、野生鳥獣との共存、生物多様性への負荷を軽減する取り組み
- 保護地域＋OECM(自然共生サイト：32サイト、トラスト緑地)
- 多様な主体による取組みの促進：企業による取組み、市民による保全活動
- 環境学習・教育の促進
- ひとりひとりの行動変容が重要

3. ネイチャーポジティブに向けた「GREEN×EXPO 2027」の活用(GREEN×EXPO協会、千田)

- GREEN×EXPO 2027
- 自然を活用した解決策(NbS)：グリーンインフラ(雨庭など)を基軸とした会場計画と自然の循環
- SATOYAMA Village, Farm & Food Village, Urban GX Villageなど
- 政府出展：農林水産省、国土交通省、国際出展
- 出展企業、市民参加(共創)プログラム

4. 都市に創られた里山が示すネイチャーポジティブー自然と便益の“見える化”から考える回復と共生ー(IGES、矢ヶ崎)

- 自然とのつながりを再構築
- 都市の里山創生「新川崎ふれあい公園」
- 学習資料の作成
- 体験の森の生物多様性とめぐみの可視化
- 活動参加の前後での変化
- 生物多様性体験の多様性評価

5. ネイチャーポジティブに向けた日本企業の動向(IGES、高橋)

- GBF：2030年までの23のターゲット
- TNFD(自然関連財務情報開示タスクフォース)
- バリューチェーン(上流、下流両方ケア)
- 企業のNP取組に関するアンケート調査(経団連自然保護協議会)
- 情報開示の媒体、ガイダンスとしてのTNFD
- 企業によるGBFへの貢献
- 生物多様性と気候変動への統合的対応